

# 要 望 書

平成26年6月2日

東葛広域行政連絡協議会

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた要望並びに協力について

昨年9月7日に行われたI O C総会において、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されることが決定し、日本中が歓喜の渦に包まれたことは、まだ記憶に新しいところです。この東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、全世界に白熱した競技を届けるばかりでなく、東日本大震災からの復興を世界の方々に見ていただける良い機会と捉え、津波被害が大きかった岩手、宮城、福島3県の沿岸部を聖火リレーが縦断するコースとして検討されていると聞いております。

私たち、東葛広域行政連絡協議会は、柏市・野田市・松戸市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市の6市から構成される協議会ではありますが、東日本大震災により家屋への被害、また我孫子市では、液状化の被害を受けるなど甚大な被害が生じました。そこで、来訪する外国人に向け、復興並びに東葛飾地域をPRすることによって、スポーツを通じた国際交流、ひいては地域経済の活性化へと繋げるため、以下の事項について要望します。

また、本地域は、成田空港とオリンピック・パラリンピック競技会場の中間に位置しているばかりでなく、成田空港と羽田空港との中間にも位置している地域でありますので、アクセスの良さを活かし、各国の事前合宿地招致等、地域として最大限の協力を行ってまいりたい所存です。

- 1 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレーに、東葛飾地域をコースに加えること。
- 2 東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、必要となる施設や道路等の整備には、関係自治体に支援を行うこと。
- 3 東葛飾地域には、国際大会の開催が可能な競技場を複数備えていることから、事前合宿地並びに関係者等多くの来訪者のための宿泊所等として、最大限の協力を行います。

平成26年6月2日

文部科学大臣  
東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

下 村 博 文 様

東葛広域行政連絡協議会会長  
柏市長 秋 山 浩 保

平成26年6月2日

一般財団法人

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長

森 喜 朗 様

東葛広域行政連絡協議会会長

柏市長 秋 山 浩 保

平成26年6月2日

文部科学副大臣

一般財団法人

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長

櫻田義孝様

東葛広域行政連絡協議会会長

柏市長 秋山浩保

柏市

市長

秋山浩保

議長

田中晋

野田市

市長

根本崇

松戸市

市長

本郷谷健次

議長

小沢暁民

流山市

市長

井崎 義治

議長

海老原 功一

我孫子市

市長

星野 順一郎

議長

木村 得道

鎌ヶ谷市

市長

清水 聖士

議長

芝田 裕美

